

スウェーデン ヒルズゴルフ 倶楽部

シードー級建築士事務所代表取締役

笹栗 達夫

スウェーデンヒルズゴルフ倶楽部新築工事
北海道石狩郡当別町スウェーデンヒルズ 2788-28 の内
発注者 株式会社トーモク、スウェーデンハウス株式会社、株式会社北洋交易
竣工 平成 21 年 4 月 10 日
敷地面積 57,444.00㎡
延床面積 2,972.17㎡
設計・監理 株式会社シードー級建築士事務所
ロゴ・サイン 有限会社リーグ
施工 辻野建設工業株式会社、株式会社シゲハラ、株式会社飯田工務店

主な仕上げ
外部 屋根：コロナルーフ 外壁：松板上小節 大和張り
開口部：木製サッシ 複層ガラス



ゴルフコース側よりフロント・ラウンジ棟とレストラン棟を臨む

スウェーデンヒルズ

スウェーデンヒルズは札幌の中心部から北へ車で35分のところに位置している。石狩湾や札幌市を一望できる丘陵地に、北欧の先進的な断熱基準をもった高性能住宅を、北海道の豊かな森林を生かした理想の住環境として広めたいという思想で作られた。自然、健康、調和をキーワードとして約40年前に開発された150ヘクタールの地域である。

クラブハウス立て替え

ゴルフ倶楽部のクラブハウス立て替えは、このスウェーデンヒルズと一体化し、地域全体のイメージアップをはかるものとして位置づけられた。クラブハウスはシンプルな大小9棟の建物で構成し、このうち7棟は木構造である。フ

ロント・ラウンジ棟とレストラン棟は北海道産唐松集成材の方杖付木質トラスフレームで構成した。

比較的大規模な施設を小さなスケールの集合体で構成することで、各空間は大きすぎず小さすぎずのヒューマンスケールの集合体とすることができた。渡り廊下の窓や、木カーテンウォールからはファルンレッドで塗装した建築群が眺められる。周辺環境の緑との対比により、表情豊かな風景を演出している。

ラウンジとレストランはプレー前後のクラブ会員の癒しの空間として機能するほか、地域の食堂、ホールとして一般の方々にも活用されている。積雪によりゴルフが出来ない冬の間は、ゴルフ場は歩くスキー場になり、新たな賑わいを見せる。



笹栗 達夫 Tatsuo Sasaguri

略歴

- 1952 北海道夕張市生まれ
- 1971 北海道札幌西高等学校 卒業
- 1976 工学院大学 工学部建築学科 卒業 (波多江研究室)
- 1977 (株) おがわ建築設計
- 1979 (株) I.C.D 建築設計事務所 (福岡事務所所長、東京事務所)
- 1985 (有) アトリエアク 取締役
- 1994 (株) シードー級建築士事務所 設立

鳥瞰 撮影：KEN GOSHIMA

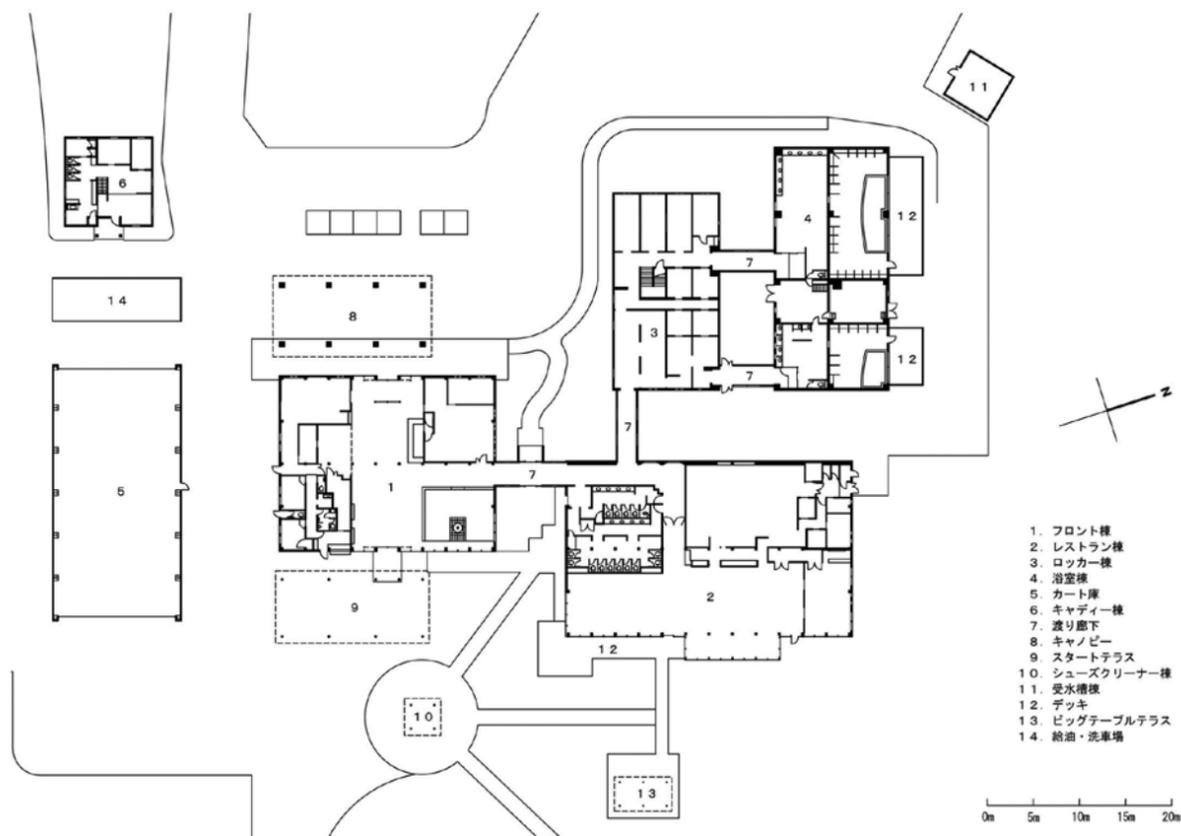




レストランへのアプローチ。スウェーデンのファールン銅山から産出される赤銅の塗料、ファールンレッドで建物を塗装している



フロント・ラウンジ棟内部



配置平面図



フロント・ラウンジ棟正面 木造平屋建